

(一般・代表)質問通告書

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 5 年 11 月 29 日
11 時 25 分受付 ① 番

令和 5 年 11 月 29 日

会派名

みらいの会

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員

後 藤 理 恵

質問事項

1. 行政による議員の調査や資料請求等へのルール化について

(市 長)

質問要旨 (課題・問題点等)

10月16日の議会連絡会において、市長より地方自治法では議員に権利として調査権を認めていないという観点から、議員の資料請求や調査については、なるべく執行部としては対応していくが、今後一定の手続きをルール化していく旨の申し入れがあった。しかし、ルール化することによって、情報公開制度に基づく市民(議員)の知る権利への制約や議員の政治活動の制限に繋がる恐れがあると考えるので、行政によるルール化を図る必要性や法的根拠等について問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) これまで、議員から執行部に対する資料請求について、どのような考え方で対応されているのか。
- (2) 情報公開制度における行政文書の開示については、どのような考え方なのか。
- (3) 議員からの資料請求と情報公開制度との整合性について、どのように考えているのか。
- (4) 市長は地方自治法100条「議会の調査権」について言及された真意は何だったのか。
- (5) これまで個人の議員が調査権を行使した事例はあったのか。
- (6) 議員の資料請求についてなぜルール化を図る必要性があるのか。
- (7) 今後、議員から執行部に対する資料請求等について、どのように対応されるのか。

質問事項

2. 売却予定の市有地について

(市 長)

質問要旨 (課題・問題点等)

令和4年9月議会定例会には行政ゾーン用地である「市有地の活用について」質問したが、令和元年度に打ち出された売却方針に基づき、地区計画の変更の手続き等を含め、早急に行う必要があるとされていたが、その後どのような対応をされたのか。また、方針転換等はあるのかについて問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 当初はどのような区画整理事業だったのか。
- (2) 当時、行政ゾーンとして、どのような財源のもと、公共施設の建設計画をされたのか。
- (3) 売却には地区計画の変更が必要とされるが、どのような要件があるのか。
- (4) 売却には条例改正が必要なのか。
- (5) 売却方針が示されたが、方針転換の考えはあるのか。
- (6) 今、具体的にどのような手続きをされているのか。

(一般・代表)質問通告書

令和 5 年 11 月 22 日
12 時 00 分受付 / 番

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 5 年 11 月 22 日

会派名 れいわ政策研究会

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 川野 悦子

質問事項

1. 小郡市男女共同参画計画の取組みについて (市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

第2次小郡市男女共同参画計画は、平成26(2014)年度から令和5(2023)年度までの10年間を計画期間として、男女共同参画に関する社会的な動向を鑑み、小郡市男女共同参画に向けての市民意識調査の結果や小郡市男女共同参画社会推進審議会からの提言を受けて、男女共同参画社会の実現に向けた小郡市の総合的な施策の指針とするものとして策定されている。

本計画は今年度で10年間の期間を終了し、来年度(令和6年)から第3次小郡市男女共同参画計画へと移行する。

そこで、第2次小郡市男女共同参画計画10年間の取組みの成果や課題について、また男女共同参画社会の実現の促進に関する考えを問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 各基本目標のそれぞれの主要課題に対する成果と課題を問う。
- (2) アンコンシャス・バイアスの解消に向けた取組みについて問う。
- (3) 女性差別撤廃条約選択議定書についての考えを問う。

質問事項

2. 小郡市における不登校の児童生徒への支援の充実について (教育長)

質問要旨 (課題・問題点等)

文部科学省によると、令和4年度の国立、公立、私立の小・中学校の不登校児童生徒数が約29万9千人で過去最多、うち学校内外で相談を受けていない児童生徒が約11万4千人で過去最多、うち90日以上欠席している児童生徒が約5万9千人で過去最多との調査結果が示された。そうした中、文部科学省は、不登校の児童生徒の学習指導などを行うための「校内教育支援センター」などの居場所づくりの計画を拡充していく。

不登校の児童生徒数の多さが指導上の喫緊の課題となっていることから、本市において不登校の児童生徒に対する認識と支援策について問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 各学校内での不登校支援の現状を問う。
- (2) 各学校間における行事等の格差について問う。
- (3) 通知表の必要性和評価の在り方について問う。
- (4) 不登校の児童生徒に対する今後の取組み等について問う。

(一般・代表)質問通告書

令和 5 年 11 月 22 日
/ 3 時 47 分受付 2 番

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 5 年 11 月 22 日

会派名 公明党

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 甲斐田典彦

質問事項

1. 子宮頸がんワクチンの接種について

(市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

令和 4 年度に子宮頸がんワクチンの積極的勧奨が再開され、併せて積極的勧奨差し控えの影響を受けた世代に対してもキャッチアップ接種が再開された。キャッチアップ接種期間は令和 6 年度末までとなっている。そこで小郡市のキャッチアップ接種対象者の状況について尋ねる。また男性接種について市の考えを問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 令和 4 年度及び直近までのキャッチアップ接種対象者の接種率を問う。
- (2) 勧奨差し控え前は接種率 70% 以上あったが勧奨後の接種率が相当低い何が原因か。
- (3) 小郡市のキャッチアップ接種対象者は何人か。「厚労省のデータでは 1 万人あたり 132 人が子宮頸がん罹患する。1 万人あたり 34 人が亡くなる」とある。小郡市のキャッチアップ接種対象者の人数に当てはめるとどうなるか。
- (4) キャッチアップ接種対象者に対し来年度最終期限を通知すべきと考えるが小郡市としていつ・どのような内容で実施するか。
- (5) 「安全性について特段の懸念は認められない」として積極的勧奨が再開後、接種対象者に対し小郡市として接種率を上げる為にどのような周知・啓発を行っているか。
- (6) 男性への子宮頸がんワクチンは定期接種とはなっていないが、肛門がん・中いんとうがんなどから守り、そして将来のパートナーへの感染を防ぐ意義があると思うが接種費用の助成について市の考えを問う。

質問事項

2. 家庭ごみ収集支援について

(市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

高齢者から今までやれたことがだんだんできなくなってきた、という意見がある。家庭のごみを出す場合も燃えるごみは大、小それぞれ袋があるが、ビン専用袋・不燃物専用袋は一サイズのみしかない。特にビンやガラス・金属・陶器などの不燃物は重くてごみを出すのが大変だと声がある。対応策を問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 現在のガラス・不燃物専用袋の容量と容量一杯入れた場合の想定される重さを問う。
- (2) 小袋を作成した場合の作成費どれくらいか。
- (3) 新たに作成された持ち手がついたごみ袋は、いつ頃市内で販売されるか、そして小袋も同様に作成ができないか問う。

(一般・代表)質問通告書

会派名 公明党

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 甲斐田典彦

質問事項

3. ゼロカーボンシティ宣言の取組について

(市長)

質問要旨(課題・問題点等)

ペットボトルなどの使い捨てプラスチック製品は容器の原料採掘や製造などで多くの二酸化炭素を排出している。市は本年10月に「ゼロカーボンシティ宣言」を表明した。その取組として水筒・マイボトルなどを利用すると環境負荷が小さくなると言われている。そこでマイボトルを普及・推進していく為に公共施設等にマイボトル用給水スポットを整備することは重要な取組だと思うが市の見解を問う。

質問明細(具体的に)

- (1) ゼロカーボンシティとしての具体的な取組を問う。
- (2) 二酸化炭素排出に深く関係するプラスチックごみの削減について市の考えを問う。
- (3) 公共施設への給水スポット(冷水・常温)の設置について市の考えを問う。

(一般)代表)質問通告書

令和 5年 11月 27日
9 時 8 分受付 3 番

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 5 年 11 月 27 日

会派名

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 新原 善 信

質問事項

1. 西部地区開発に伴う水と道路の問題について

(市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

現在、小郡市西部地区から県境を接する基山町、鳥栖市にまたがる大規模な土地開発が進行している。すでに、大分自動車道の北側、大原中西信号のそばに大型物流倉庫 GLP が完成し、まもなく操業が開始される。さらに、その西や北側にも物流倉庫建設が決まっている。それに加えて小郡市と接する基山町の農地全域を開発し大型物流倉庫を建設する計画がある。

また、大分自動車道の南側については、現在大板井にある児童発達支援施設が新築移転することが決まっており、その西側の基山町、鳥栖市にまたがる農地にも開発の動きがある。このような開発によって農地の雨水貯留機能が低下し、周辺地区に浸水被害をひき起こさないか、また、市道 16 号線の交通量が爆発的に増え安全が脅かされないか、道路の維持管理の負担が増すのではないかと懸念される。水および道路の課題解決についての市の考えを問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 基山町、鳥栖市を含む流域治水にどう取り組むか
- (2) 市道 16 号線の通行量増に対し、安全、環境確保及び維持管理にどう取り組むか
- (3) 隣接する基山町、鳥栖市との連携協力をどう進めるか

質問事項

2. 小郡市まちづくりガイドラインにある課題解決に向けての動きについて

(市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

小郡市は、令和 5 年 3 月「小郡市まちづくりガイドライン」を作成し、これまでの取組の振り返りと検証をしつつ、これからの本格的な人口減少社会に向けて、まちづくりに関わる人材を確保しながら効果的・効率的に事業を実施し、持続可能なまちづくりを実践するための指針とした。このなかに、多くの課題があげられている。それらの課題解決に向けて、どのように取り組まれてきたかを問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 校区まちづくり協議会の事業のマンネリ化と参加者の固定化、事業効果の確認と棚卸しできていないといった課題に対しどのように取り組んできたか。
- (2) 自治会、まち協などでまちづくりを担う担い手、人材の育成にどう取り組んできたか。
- (3) 校区内外の NP0、ボランティア、事業所など、地域資源の発掘と協働の構築にどう取り組んできたか。
- (4) 財政支援において、補助金と交付金の 2 本立てのやり方に問題はないか。

(一般代表)質問通告書

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 5 年 11 月 27 日
9 時 30 分受付 4 番

令和5年11月27日

会派名 みらいの会

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 黒 岩 重 彦

質問事項

1. 市道の整備について

(市長)

質問要旨（課題・問題点等）

小郡市には、今なおたくさんの未整備の狭隘道路があり、不便だけではなく、緊急車両が入れないなど、市民は不安を感じ、速やかな整備を切望している。

毎年、各行政区から多くの要望が出されているが、申請から整備までに何年もかかるし、予算も少ないため、いつ出来るかわからないなど、多くの不満の声が寄せられている。

市民の安全安心を確保するため、出来る限り早く要望に応え速やかに進めるべきと考えるが、市道の整備について市としての考え方を問う。

質問明細（具体的に）

- (1) 各行政区からの要望とその取り組み状況はどうなっているのか。
- (2) 道路舗装の基準や優先順位についてどう考えているのか。
- (3) 幅員の狭い道路のセットバックの取り組みについてどう考えているのか。
- (4) 市道の側溝や用水路等への蓋掛けについてどう考えているのか。
- (5) 市道の安全対策（グリーンベルト、カーブミラー等）についてどう取り組んでいるのか。

質問事項

2. 観光駐車場の取り組みについて

(市長)

質問要旨（課題・問題点等）

新型コロナウイルスの感染者の減少に伴い、小郡市の観光資源の中で最も観光入込客が多い「かえる寺如意輪寺」に市内外から車で多くの方々が訪問され、また韓国や中国等からは大型バスを利用して沢山来られている。そのため、駐車場不足や集落内での大型バスの走行などの問題が発生しており、地元の方々は大変不安な思いで生活されている。行政としては地域住民の方々が安心安全にかつ平穏な生活を取り戻せるように、観光振興の視点を入れた上で公営の観光駐車場の整備を行い、課題解決に向けて早急に取り組むべきと考えるが見解を問う。

昨年の9月議会で「かえる寺如意輪寺」周辺に観光駐車場を整備して観光振興に繋げていくように提案した際、「観光協会とも課題を共有し、地元の意見も聞いて調査研究する」という答弁があったが、その後の進捗状況について問う。

質問明細（具体的に）

- (1) 公営の観光駐車場整備について市としてはどう考えているのか。
- (2) 観光協会として何か具体的な考えがあるのか。
- (3) 横隈区北部の前堤に隣接した市保有の土地の有効活用についてどう考えているのか。

一般・代表)質問通告書

会派名 みらいの会

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 黒 岩 重 彦

質問事項

3. まちづくり協議会の課題解決について

(市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

まちづくり協議会は、地域のことをよく知る住民が主体的に地域課題を把握し、解決を試みることができる体制で取り組みが進められていかなければならないが、現実には必置部会の活動が中心で、事業消化型の活動となっており、当初目指した課題解決型の取り組みが全体的に進んでいないように思われる。そのためには、それぞれの校区まちづくり協議会が抱えている課題の解決に向けた取り組みが必要であり、併せて行政からの伴走型の支援も必要であると考えます。

本年3月議会で質問指摘していた「事業活動内容」や「部会等の組織体制」、「担い手不足」や「財政支援」などの課題に対して、市としてはこれからどのように向かい合いどう進めていくのか見解を問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 行政と校区まちづくり協議会との意見交換で出た課題をどう対応していくのか。
- (2) まちづくりガイドラインは役に立っているのか。
- (3) 補助金と交付金の財政支援の問題点についてどのように捉えているのか。

(一般代表)質問通告書

令和 5 年 11 月 28 日
13 時 58 分受付 5 番

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 5 年 11 月 28 日

会派名 みらいの会

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 高木 良郎

質問事項

1. 三井消防署の現地建て替えの経緯について問う (市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

加地市長から令和 5 年 11 月 16 日付けで井上市議会議長に提出された令和 5 年第 3 回小郡市議会定例会における 9 月 22 日に私が行った補正予算案に対しての反対討論における事実誤認の内容について問う。(見城副市長が久留米広域消防本部に問い合わせた内容とその回答について)

質問明細 (具体的に)

- (1) 三井消防署の建て替えは現地建て替えでなく、新たな場所に建設することで構成団体の合意形成がなされていたのか。
- (2) 小郡市が現地建て替えを要望したため現地建て替えに変更されたのか。
- (3) 小郡市が建て替え用地に関与したため新消防署の完成が 2 年遅れることになったのか。
- (4) 新たな建設用地に消防署を建設すると、総務省「緊急防災減災事業債の活用により建設費の 70% が国からの交付金として交付されていたとの指摘だが、久留米広域消防本部が試算していた交付金よりも小郡市の総務省への働きかけ(訓練施設等も起債対象として要望)があったこと等により増額されたものと理解しているが実態はどうかという 4 項目を問い合わせるがそれぞれどの部分が事実誤認にあたるか問う。

質問事項

2. インター周辺のまちづくり構想の具体的施策を再度問う (市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

9 月議会で同じ内容の質問を行った。そこで加地市長は私の質問に対して反問権を使い現状での打開策を尋ねた。私が答えた事は、市長が先頭に立って地元に入って頂いて合意形成を計るために行政が一丸となって関わってもらいたいと話した。その後の現状を問う。

小郡インター周辺についても再度地元の活性化対策を問う

質問明細 (具体的に)

- (1) 治水対策の現状について問う。
- (2) 盛土 8m が必要であること、調整池が全体の面積の 30% (22ha) 必要であること、農地の 20% を残すということは事実か。
- (3) 立石地区の新たな住宅政策の内容を問う。
- (4) インター周辺以外の住宅政策について問う。
- (5) 新駅建設及び周辺整備にかかる費用と甘木鉄道利用者予想の数を問う。

(一般代表)質問通告書

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 5 年 11 月 28 日
/ 4 時 43 分受付 6 番

令和 5 年 11 月 28 日

会派名 みらいの会

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 内 山 伸 博

質問事項

1. 大規模集客施設(コストコ)オープンに伴う交通・治水対策について (市 長・教育長)

質問要旨 (課題・問題点等)

11 月 20 日の議会連絡会で大規模集客 (コストコ) が 2023 年 11 月 28 日から工事着手され、2024 年 10 月 15 日に工事完了予定であり工事用車両出入口 (No. 4 ゲート) は、市道下岩田・乙隈 30 号線 (通学路) 側にあるために工事期間中、児童・生徒の安全確保ための対策について問う。
また、1 工区には既に調整池があるが、今後の開発区域 2 工区を含めた治水対策について問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 地元の合意形成状況を関係機関、校区区長会、地域住民との協議状況について問う。
- (2) 市道 30 号線 (通学路 松崎から乙隈まで) の整備計画について問う。
- (3) 開発区域 (1 工区、2 工区) 治水対策について問う。

(一般・代表)質問通告書

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 5年 11月 29日
8時 25分受付 7番

令和 5年 11月 29日

会派名 れいわ政策研究会

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 橋間 順平

質問事項

1. 「のるーと小郡」の交通弱者の利用について (市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

令和5年10月2日より試験運行が開始された「のるーと小郡」は、事前予約でドア to ドア型で、乗車または到着時間を指定でき、指定エリア内を移動できる便利性は高まった。約2か月経過して、高齢者・障がい者・運転免許返納者、低所得者等の交通弱者から、指定時間に来ない、料金が高い、運転が荒い等の利用者からの色々な意見をお聞きした。三國小校区北部地区の住民の利用者より、運賃が高いことと公共施設に行くのに小郡区・大保区等との運賃の平等性について問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 高齢障がい者で通院に付き添いで夫婦で行った場合片道1,400円で往復2,800円になるため、通院もできないと嘆かれておられます。この状況をどう思うか。
- (2) 高齢者運転免許返納者が買い物に夫婦で片道1,000円、往復2,000円かかるため買い物にいけない状況をどう思うか。
- (3) 友人同士で、あすてらすの満天の湯に行かれた方は、あすてらすまで片道1,000円、往復2,000円では行けないと嘆かれている事をどう思うか。
- (4) 三國小校区北部地区から、市役所、体育館・学習センター・小郡文化会館に行くには、片道700円、あすてらすまでは片道1,000円である。公共施設に行くのに片道700円から1,000円運賃がかかる件に関して、市として何か考えがあるか。

質問事項

2. 三國幼稚園跡地利用について (市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

三國幼稚園跡地を公募型プロポーザル方式で売却を行い、こども家庭庁が来年度から『こども誰でも通園制度』創設を目指している方針を踏まえて、こども・子育て支援の充実を行うために、三國幼稚園跡地の利用を行って頂きたい。今回、売却先の社会福祉法人どろんこ会について法人と保育運営・方針を問う。また、市は、『こども誰でも通園制度』創設に伴い今後の幼稚園・保育所の現状と問題点について問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 社会福祉法人どろんこ会の法人内容と保育運営方針内容を問う。
- (2) 『こども誰でも通園制度』創設で市内の保育園・保育所の定員と入園児数について問う。また、保育園の入園緩和により保育園児の入園に対応できるか問う。
- (3) 社会福祉法人どろんこ会へ三國小校区の高齢者・子供たちがコミュニケーションができる居場所の提供について市の見解を問う。

(一般代表)質問通告書

会派名 れいわ政策研究会

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 橋間 順平

質問事項

3. 生徒・児童の安全な通学道路確保について

(市長)

質問要旨（課題・問題点等）

最近、通学中の生徒・児童の列へ車が突っ込む事故が頻繁に起こっている。11月21日に福岡県宇美町で歩道に車が乗り上げ、高校生の列に車が突っ込む事故が起き、9人の生徒が巻き込まれた。小郡市内の通学路に関しては、各学校で通学路が決められているが、指定された通学路においても、横断歩道、交差点、踏切の横断道路に関して非常に危険な個所が見られる。市として通学路の把握状況に関して問う。

質問明細（具体的に）

- (1) 小郡高校南側の道路、西鉄踏切と交差点付近に三国中学校の生徒が一時的に多く滞るため道路にはみ出ているため危険性を問う。
- (2) 三沢駅付近の道路は狭く、歩道もなく、道路横断も危険である上に、踏切が閉まっていると道路に多くの児童が滞るため、危険性を問う。
- (3) ファミリーマート美鈴の杜前の踏切付近に児童が滞るため道路にはみ出ている児童がいる、危険性を問う。
- (4) 三沢駅付近の生徒・児童の通学道路ため、道路拡幅、歩道の整備を早急に行うべきである。市の考えを問う。

(一般・代表)質問通告書

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 5 年 11 月 29 日
8 時 46 分受付 8 番

令和 5 年 11 月 29 日

会派名 みらいの会

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 深川 博英

質問事項

1. おごおりセタプロジェクトについて (市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

平成 30 年から事業を開始したおごおりセタプロジェクトだが計画では今年度が最終年度になる。今までの取り組みと成果そして今後の取り組みを問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 「セタプロジェクト」3つの戦略の具体的な内容について問う。
- (2) セタプロジェクト事業補助金について交付団体と事業内容を問う。

質問事項

2. のぞみが丘校区コミュニティセンターについて (市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

2014 年、2015 年に市に対して地元から生楽館の移設について要望が上がっている、2016 年には 3,211 筆の署名も提出されている、2022 年にはのぞみが丘小校区コミュニティセンター検討委員会が設置され地元と協議を行っているが執行部と地元との間に認識の違いがあり、地元では回覧板により今までの経緯などがお知らせされている。この現状をどのように認識しているかを問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 小学校と併設の学社融合の課題や問題点の認識を問う。
- (2) 今後高齢化が進むであろうのぞみが丘校区のまち協の拠点であるコミセンの新設について問う。
- (3) 3 月 28 日以降開催されてない検討委員会の開催について問う。

(一般)代表)質問通告書

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 5 年11月29日

8 時 48 分受付 9 番

令和 5 年 11 月 29 日

会派名 れいわ政策研究会

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 立山 稔

質問事項

1. 今後の本市の財政状況の推移(予測)について

(市 長)

質問要旨 (課題・問題点等)

本市では、老朽化した公共施設の建て替えとして現在、新体育館、新学校給食センター、新消防署の建て替え(久留米市・大刀洗町からの支出を含めた)を計画されている。

この計画はそれぞれ、平成29年3月に策定された「小郡市公共施設等総合管理計画」の中で示された方針に沿って、しっかり検討され、判断された結果、建て替えを計画されていると思うが、一方では「財政面は大丈夫なのか」という市民の声も聞かれる。

今後10年先や20年先の本市の財政に与える影響をどのように考えているのかを問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 新体育館建設に関して、一般会計からの支出、市債発行、財政調整基金からの繰り出しや、交付金はどのように見込んでいるのか。
- (2) 新体育館建設に関して、本市の年次的支出(予測)はどのように考えているのか。
- (3) 新学校給食センターに関して、一般会計からの支出、市債発行、財政調整基金からの繰り出しや、交付金に関して、どのように見込んでいるのか。
- (4) 新学校給食センター建設に関して、本市の年次的支出(予測)はどのように考えているのか。
- (5) 新消防署の建て替えに関して、本市の一般会計からの支出、市債発行、財政調整基金からの繰り出しや、交付金はどのように見込んでいるのか。
- (6) 新消防署建設に関して、本市の年次的支出(予測)はどのように考えているのか。
- (7) 本庁舎の建設も考えなければならない時期に来ていると思うが、どのように考えているのか。
- (8) 最近、他の自治体でも増えているが、「公共施設の建て替え予算をこれまで国や県が示している基準で見積りを行って、どこも入札に応じない」という事象が出る懸念もある。
そのような懸念材料に対してどう考えているのか。
- (9) 必要な施設を建て替えるための、不可欠な歳出だと考えられていると思うが、歳入を増やし(近年の企業誘致や資産の売却等)、自主財源を確保していくための施策に対する考えを問う。

(一般代表)質問通告書

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 5 年 11 月 29 日
8 時 51 分受付 10 番

令和 5 年 11 月 29 日

会派名 おごおり創志会

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 小野 壽義

質問事項

1. 治水対策と田んぼダムの取り組みについて

(市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

平成 30 年 7 月から毎年のように大雨被害を受け、特に築地川樋門、今朝丸水門を閉鎖した場合に内水氾濫が起き、大崎地区や福童地区の被害が大きくなっている。市は国、県に宝満川の浚渫や不要になった堰の撤去を要望しているが、全ての工事が完了するには時間と予算が掛かる。

河川改修工事を国、県に要望することは重要であるが、ここ数年前から治水対策に効果があるとされる「田んぼダム」の本格的な取り組みについて、市の考えを問う。

また、小郡・鳥栖南スマートインターチェンジに企業が進出した場合の治水対策と、令和 5 年度の主な治水対策事業のオンサイト貯留について問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 水田を活用して治水対策「田んぼダム」の取り組みについて問う。
- (2) 田んぼダムが可能な市内の地域について問う。
- (3) 田んぼダムに活用できる水田の面積について問う。
- (4) 田んぼダムに協力する認定農業者や農家への補助について問う。
- (5) 小郡・鳥栖南スマートインターチェンジ周辺進出企業に対して、開発により農地面積減少分の治水対策について問う。
- (6) 治水対策のオンサイト貯留施設について問う。

質問事項

2. 少年の非行対策について

(市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

若者を中心に大麻乱用が広がりつつある。また大麻グミ、大麻クッキーなどが市販され、食べた人が体調を崩し病院に搬送されている。この大麻グミや大麻クッキーは誰もが購入できる状況にあることから、政府は大麻グミに含まれる成分を指定薬物にした。大学生の大麻の乱用が進んでいることは、いずれ高校生、中学生へと進む恐れがあり、少年が大麻に手を染めることになれば大きな社会問題となることから、大麻や合成薬物に対して正しい知識教育が必要と考えるが、市の取り組みについて問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 現在行われている大麻、合成薬物の啓発活動について問う。
- (2) 中学生の大麻、合成薬物についての教育について問う。
- (3) 保護者を対象とした大麻、合成薬物の説明会の実施について問う。
- (4) これまでに中学生の大麻や合成薬物についての相談があったかについて問う。
- (5) 学校と警察が連携した教育の取り組みについて問う。

(一般・代表)質問通告書

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 5 年 11 月 29 日
8 時 52 分受付 11 番

令和 5 年 11 月 29 日

会派名

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 小坪 輝美

質問事項

1. 子育て世帯の負担軽減について

(市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

子育て世帯が望む子育て支援として、多くの方が「教育費負担の軽減」をあげられている。日本は、先進国の中で一番安い賃金で、世界一重い教育費を背負わなければならない。しかも、自分の奨学金を返ししながら子育てをしている人も少なくない。そこにいま空前の物価高が襲い、経済的に厳しい家庭では食費を切り詰めている。給食費は、義務教育のなかでも最も大きな負担となっている。私は、学校給食無償化こそが一番の子育て支援になるのではないかと考える。そこで、子育て世帯の負担軽減として、学校給食費無償化等について及び小郡市が考える子育て支援についての見解を問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 学校給食無償化について市の見解を問う。
- (2) こども医療費無料化・3歳未満児の保育料無料化について市の見解を問う。
- (3) 今後の子育て支援についての市の方針を問う。

質問事項

2. 地域公共交通の在り方について

(市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

少子高齢化や人口減少社会に対応した公共交通としての確保・維持、更なる活性化を図るために、宝満川右岸地域においてもAIを活用したオンデマンドタクシー導入のための実証実験が10月2日より開始されている。実験期間は1年間。まだ、数か月ではあるが、その現状について及び地域公共交通に対する市の見解について問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 導入に至った経緯を問う。
- (2) 現状について(登録人数・利用状況・市民の反応・課題)問う。
- (3) 今後の左岸地域を含めた市全体の地域公共交通についての方針を問う。

(一般・代表)質問通告書

会派名

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員

小坪 輝美

質問事項

3. ジェンダー平等社会の実現にむけて～性の多様性について～

(市長)

質問要旨（課題・問題点等）

いま、ジェンダー平等、子どもの権利、労働者の権利、外国人の権利など日本社会のあらゆる分野で「人権後進国」の矛盾が噴出して、社会の不公平の拡大と分断をまねいている。

小郡市は、第6次小郡市総合振興計画において、基本政策3 支え合い健やかに暮らせるまちづくりの基本方針として、「市民一人ひとりの人権や多様性が尊重されるよう啓発や教育の充実を図ります」を掲げている。今回は、特に「性の多様性について」の現状や取り組みについて問う。

質問明細（具体的に）

- (1) 市の取り組みの現状と課題を問う。
- (2) パートナーシップ制度導入についての見解を問う。

(一般・代表)質問通告書

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 5 年 11 月 29 日
8 時 59 分受付 / 2 番

令和5年11月29日

会派名 みらいの会

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 山田 忠

質問事項

1. 宝城中校区の課題解決に向けた取り組みについて (市長・教育長)

質問要旨 (課題・問題点等)

整備が進んでいるスマートインターの開通が目に見える状況になったと思っている。今後、インター周辺では物流の拠点となり、人や物の移動の活性化など期待が膨らむ。一方、宝城中校区においては交通量が増え環境の変化が懸念される。宝城中校区の安全のためにどのような取り組みを検討しているのか問う。次に全国的な社会問題となっている空き家問題だが、宝城中校区において高齢化が進む現状では空き家の増加は避けられないと考える。現状と取り組みについて問う。最後に、味坂小・御原小での小規模校魅力化計画では、どのようなことを子どもたちに育んでももらいたいと考えているか問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 県道二森・石崎線、県道鳥栖・朝倉線における歩道を含めたところの安全対策について問う。
- (2) 空き家の中で、建物が倒壊しそうなものや、庭の樹木が生い茂って近隣住民に危険を及ぼすような状況に対する対応について問う。
- (3) 小規模校のメリットを生かす方策、デメリットの解消、緩和策の取り組みについて問う。

(一般)質問通告書

令和 5 年 11 月 29 日
9 時 7 分受付 13 番

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 5 年 11 月 29 日

会派名 公明党

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 田中 雅光

質問事項

1. ICT 教育の推進について

(教育長)

質問要旨 (課題・問題点等)

国の GIGA スクール構想によって児童生徒一人 1 台の PC があたえられ、授業での ICT 活用が進んでいる。総務文教委員会においても市内 ICT 推進校の先進的な取り組みを行っている学校を視察し、行政視察も ICT 教育をテーマに行ってきた。そこで、ICT 教育の推進について今後の展開を含めた現状を問う。

質問明細

- (1) STEM (STEAM) 教育の推進について問う。
- (2) ICT 教育の市域平準化について問う。
- (3) オンライン教育の実施について問う。
- (4) 情報モラル教育について問う。
- (5) 校務の効率化について問う。
- (6) 教室における表示機器の確保について問う。

質問事項

2. 鳥獣被害対策について

(市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

近年、全国的にイノシシ・アライグマ・サル等の活動範囲が広がり、農業被害や人的被害が拡大している。市内北部地域においても今月に入り頻繁にサルが市民の生活区域に出没し、住民は困惑している。市の鳥獣被害対策について現在と今後の取り組みを問う。

質問明細

- (1) イノシシ・アライグマ等の被害の現状について問う。
- (2) アライグマ等の外来生物への対応を問う。
- (3) サルの被害防止対策について問う。

一般質問通告書

令和 5年 11月 29日
10 時 35 分受付 14 番

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 5年 11月 29日

会派名 おごおり創志会

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 佐藤 源

質問事項

1. まちづくり協議会について (市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

昨年6月議会でまちづくり協議会への質問を行った。その後、小郡市まちづくりガイドラインが作成された。一般質問のなかで出た、まちづくり協議会の会員の件、会員の任意性について、構成団体との関係性などについて、どのように整理できたかについて問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) まちづくり協議会の会員について、まちづくりガイドラインに具体的な記載があった。それを踏まえて、まちづくり協議会の規約改正が必要だと思うが、現在どうなっているのか。
- (2) 構成団体がまちづくり協議会から脱退したい旨の決議をした場合、まちづくり協議会はどうのような対応になると想定しているのか。
- (3) まちづくりガイドラインで、まちづくり協議会防災部会、各自治会の自主防災組織についての関係性が記載されていたが、その他にも、消防団、防災士、防災リーダーと私が知っている限りでも、防災に関する組織・人材が多岐にわたっている。それぞれの役割について、市の認識を確認の意味を含めて問う。
- (4) 地域が成り立っていくために、小郡市は第6次総合振興計画の中で安心して住み続けられるまちづくりと標榜している。その中で多様な主体が担う地域づくりを謳っており、まちづくり人材の育成を成果指標に挙げている。では、まちづくり人材とはどのようなヒトのことを言うのか、市の考えを問う。また、役員の担い手不足や高齢化が対応したい課題としてまちづくりガイドラインに記載されているが、これは今に始まったことではないと感じる。問題点としては以前から上がっているが、市は具体的にどのような対応を考えて実践しているのかについて問う。

一般質問通告書

会派名

おごおり創志会

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員

佐藤 源

質問事項

2. 不登校の「出席扱い制度」について

(教育長)

質問要旨（課題・問題点等）

9月議会における山田議員の一般質問の中で、ICTを使った学習を行った場合に、校長判断で出席扱いにできるようになったということを問うた場面があった。その質問に対し、教育長は小郡市においては、このオンラインによる指導をもって出席扱いにしているという事例は、現在の所ないという答弁であった。その理由についての答弁がなかったため、その理由を問う。

質問明細（具体的に）

- (1) 不登校の出席扱い制度に対する考えを問う。
- (2) 教育長は、学校に復帰してもらって、友だちと関わり合いながら本来の学校の魅力ある教育活動と一緒にやっていくことが一番望ましい形だと思っている。という答弁があったが、学校に通うことができないことは、そんなに悪いことなのか。通いたくても通えない子どもは1番ではないのか。考えを問う。
- (3) 多様性の時代に、学校に復帰させる以外に様々な学び方があっても良いと思うが、考えを問う。

以上

(一般・代表)質問通告書

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 5 年 11 月 29 日
11 時 19 分受付 15 番

令和 5 年 11 月 29 日

会派名 おごおり創志会

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 大場 美紀

質問事項

1. のるーと小郡について (市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

10月2日より実証運行が始まった『のるーと小郡』。利用しやすくなる期待感も多くある反面、高齢者や障がいをかかえる方々が利用しづらくなったなど、市民の方から多くの声をいただいている。そこで、のるーと小郡導入の目的、公共交通として市民が利用しやすくなるために、今後どのように改善していくのかを問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) コミュニティバスの収支率とのるーと小郡の収支率の目標値を問う。
- (2) 2か月が経過したが、のるーと利用状況 (登録数及び利用人数) について問う。
- (3) 市民から様々な意見要望が上がっていると思うが運行業者との情報共有はどのようになされてあるのか。現状と課題 (利用者・事業者・車両・利用者へのお知らせ) を含めて問う。
- (4) それぞれの課題に対する今後の対応について問う。
- (5) 1年間の実証運行後の展望について問う。

質問事項

2. 子どもを育てる保護者支援について (市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

子育て支援ではなく保護者支援という言葉を用いたのは、地域全体の制度的なものではなく、保護者に寄り添った支援について問うため、多くの保護者は、子育てや子どもの発育に不安を抱え、悩みながら判断し判断を迷いながら一歩進み、手探りの中で子育てしている。市としての保護者支援のありかたをどのように捉えているのか、子育て支援制度の中で、保護者支援が不足しているのではないか、改めて考える機会とするために市の見解を問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 発達障がいなどの早期発見に注視され体制づくりをされていると思うが、受け皿の問題も重要。気になる子を見つけた後のフォロー体制まで十分考えてあるのか。
- (2) 子育てをしている保護者が仕事と育児を両立し、安心して生活できる環境を整備する取り組みの一つとして、ファミリーサポートセンターなどがあるが、保護者が使いやすい視点に立った制度となっているか。
- (3) こども家庭支援センターの相談窓口は、平日の8:30~17:00まで。一体的な相談支援を行うと定義されているが、保護者にとって相談しやすい体制と考えているのか。